

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-1-5	事務事業名 市民会館運営管理	所管部課 生活文化スポーツ部 文化振興課
----------------	-------------------	----------------------------

施策コード 協1-1	施策名 市民主体のまちづくりの推進	施策目標 市民の視点にたった活動の場や機会を充実させ、市民が主体的にいきいきと“まち”で暮らすための条件を整えます。
---------------	----------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的 市民及び地域社会の福祉の増進、文化の向上に寄与するため、利用者が安全快適に利用できるような管理運営に努めるとともに、来館者の利用増を図るほか、災害時における避難所でもあり多種多機能の運営を行うことを目的とする。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要 ：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 当該施設は、多目的に利用することを想定した舞台設備を備えた公会堂、定員100名の簡易防音と跳ね上げ式小舞台を備えたプレイルーム、約190㎡の武道やダンスなどのほか卓球に使用される体育室、その他に定員18名から100名までの会議や講習などに使用される会議室と和室、宴会も可能な多目的室を3室備え、定員32名の学習室を開放している。定期的に利用者懇談会を開催し、利用者の意向を伺う機会を設けており、公会堂の舞台機械等の操作及び進行は舞台技術者が常駐して対応を行っている。施設維持としては、設備関係の保守・補修、館内の日常・定期の清掃、警備等の業務を専門事業者が行っている。	
	事業開始時期	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 (施設管理及び公会堂運営委託)

項目		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費 データ	事業費(A)		95,620	93,639	90,173	105,666
	財源内訳	千円				
	国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他()		585	721	0	0
一般財源	95,035	92,918	90,173	105,666		
所要人員(B)	人	2	2	2	2	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,160	16,330	15,396	16,468	
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	111,780	109,969	105,569	122,134	
単位当たりコスト(E)=(D)/(施設利用者数(公会堂))	千円		3	3	3	0

活動等指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①施設利用者数(公会堂)	実績値	人	38,633	41,285	41,979	
②施設利用者数(公会堂以外)	実績値	人	138,056	135,991	134,144	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 開館以来40年以上に渡り市の文化発展に寄与してきた当該施設の活動指標として各施設(公会堂、プレイルーム、会議室、体育室、和室、多目的室、学習室)の利用者数を指標とする。						
成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 施設利用率(公会堂)	目標値	%	50	50	50	50
	実績値	%	57.8	52.6	55.7	
二 施設利用率(公会堂以外)	目標値	%	50	50	50	50
	実績値	%	55.5	52.4	51.9	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 施設利用率は、施設利用可能区分(日)に対して施設利用区分(日)の割合を数値化する。ただし、自由開放している学習室の数値は適用しない。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	施設利用者懇談会にて施設利用者の意見を伺っているが、施設全体は老朽化が進行しているものの各施設とも整備が行き届いているので利用し易く、また、規模としても活用し易いので今後も存続を望む声が多かった。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 施設ごとに形状などが異なるため比較が困難だが、近隣施設に比べ利用料金が突出しているという状況にはなく、サービス水準としては、おおむね中程度と考える。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 市内では保谷こもれびホールやコール田無に同機能施設が存在し、立地条件などを勘案し、一定の制約はあるが機能の代替は可能と考える。

事業コード 7-1-5	事務事業名 市民会館運営管理	所管部課 生活文化スポーツ部 文化振興課
----------------	-------------------	----------------------------

施策コード 協1-1	施策名 市民主体のまちづくりの推進	施策目標 市民の視点にたった活動の場や機会を充実させ、市民が主体的にいいきと“まち”で暮らすための条件を整えます。
---------------	----------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>当該施設は開館から40年以上にわたり福祉の増進と文化の発展のため、市民に限らず市外利用者からも利用されてきた。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では施設設備に大きな被害はなかったが、施設全体には経年劣化による改修(更新)が必要な箇所が多く存在し、来館者の安全面のほか有償施設における信頼性からも今後は施設の存続の有無について方針及び施設設備投資の方針を明確にする必要がある。</p> <p>施設の躯体の耐久測定とともに、これに伴う費用対効果の検証を行うとともに、施設利用者をはじめとした施設部屋別の施設存続に伴う検証をアンケート等を実施し、施設の存続について客観的な評価により判断する。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<p>市民会館は、建設から40年以上経過しているため、施設利用者の安全性が求められている。</p> <p>本年、耐震診断を行い、耐震度の結果と利用者の意向を踏まえ、市民会館の多目的な機能のあり方の検討をして、今後使用していくことの可否の方向性を含め、抜本的な見直しが必要である。</p>
	事業の必要性	1	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	3	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民会館は、本市において最も建築年度の古い文化施設であり、利用者の安全確保に向けた対応の検討が必要である。</p> <p>一方で、本施設は、公会堂のみならず、プレイルーム、体育室、学習室など、様々な機能が包含された施設であり、今後の対応を検討するに当たっては、一次評価・二次評価において指摘のあったような検証を経るのとともに、本市の置かれた厳しい財政状況を十分に踏まえ、市民会館として真に必要な機能・あり方の見極めを行われない。</p>